



GLOBAL MAPPING NewsLetter 60

国連気候変動枠組条約第 16 回締約国会合（COP16） における地球地図の紹介

小島 脩平
ISCGM 事務局・国土地理院

国連気候変動枠組条約第 16 回締約国会議（COP16）が 2010 年 11 月 29 日～12 月 10 日までメキシコ・カンクンにおいて開催され、2013 年以降の気候変動対策に関する国際枠組等について議論が行われました。



（会議場）ホテル・ムーンパレス

国土地理院からは地理調査部小島技官が日本政府代表団の一員として同会議に参加しました。

11 月 29 日に開催された日本政府主催のサイドイベント「REDD+ における日本の貢献」において、地球地図プロジェクトの概要、データ利活用例、地球地図第 2 版整備の取組み、技術協力等を説明し、多くの聴衆の関心を集めました。



日本政府サイドイベントでの地球地図の発表

また、会場内に設置された日本政府ブースにおいて、地球地図第 1 版の全球土地被覆及び樹木被覆率データの出力図を掲示し、地球地図プロジェクトの説明を行いました。

会議には、各国代表団をはじめ、気候変動や環境問題に取り組む団体が多数参加しており、関係分野の方々に地球地図を認識していただく良い機会となりました。サイドイベント、展示ブースの訪問者からは、地球地図プロジェクトに対する期待や、気候変動の影響のシミュレーションや脆弱性評価など、地球地図データの利活用を検討する旨のコメントを多数いただきました。

気候変動対策における地理空間情報のニーズは、今後益々高まると思われますが、これを把握しながら、プロジェクトを推進していく必要があります。



日本政府展示ブースでの地球地図の説明

生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP 10 CBD）での取組み

ISCGM 事務局・国土地理院

COP10 CBD（生物多様性条約第 10 回締約国会議）が、10 月 11 日～29 日に日本の愛知県にある名古屋国際会議場において、179 の締約国、関連国際機関、NGO 等から 1 万 3 千人以上が参加し開催されました。

期間中、全体会合と各テーマ毎の作業部会で活発な議論がなされ、27 日からのハイレベル会合では、菅総理大臣から生物多様性に係る日本による途上国支援策の表明があり、地球地図に関する支援も盛り込まれました。



COP10 CBD 本会議場の様子

会議に並行して開催された COP10 CBD 実行委員会主催による「生物多様性交流フェア」では、締約国の政府機関、国際機関、国連機関、国内外の NGO、自治体、民間企業、学術研究機関など 200 を超える機関や組織がブース出展やフォーラム開催を通じ、取組みや活動状況の紹介を行いました。同交流フェアには 11 万 8 千人を超える来場者がありました。

国土地理院は、同交流フェアの国土交通省ブースにおいて、地球地図の普及・啓発と利活用促進のため、地球地図の土地被覆データに標高データを組合せて立体的な表現とし、さらにその上に絶滅



交流フェアの様子

危惧種のうちいくつかの動物の分布域を重ね合わせ表示した床貼り（5m × 3.5m）と地球地図紹介パネルの展示及び説明を行いました。

また、同交流フェアの日本政府イベントブースや会議場内の日本政府展示エリアにも同様にパネル展示を行ったほか、会議場中庭の 160 インチ大型スクリーンでは地球地図紹介ビデオの放映も行いました。さらに、日本政府や国土交通省の生物多様性に関する取組みを紹介するパンフレットにもそれぞれ地球地図の取組みが掲載され、国内外の参加者、一般市民に地球地図をアピールすることができました。



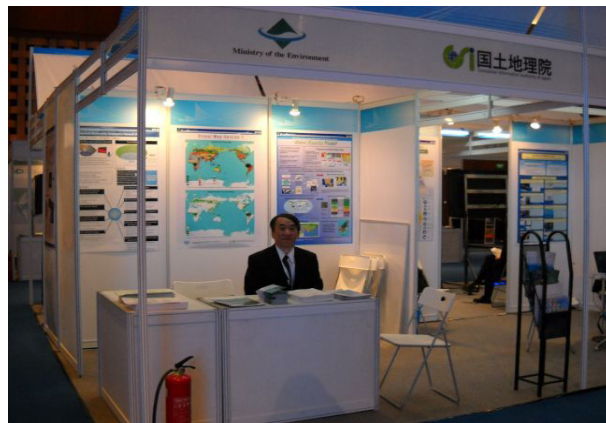
地球地図の床展示

北京における GEO VII 及び GEO 閣僚級サミット

福島 芳和
ISCGM 事務局長

GEO VII 及び GEO 閣僚級サミットが、中国気象局の主催により、11 月 3 日～5 日に中国の北京で開催されました。地球観測に関する政府間会合 (GEO) は 2005 年の設立以来、大きな進歩を遂げてきました。2005 年～2015 年の全球地球観測システム (GEOSS) 10 年実施計画は順調に進行しています。今回のサミットはこの計画の中間地点となります。GEO のモニタリング・評価作業部会 (M&E WG) により、「GEOSS 実施の中間評価」の報告が行われました。評価の最初の鍵となる調査結果として、GEOSS が重要で新しい地球観測コミュニティとネットワークを代表していることが挙げられます。GEOSS では統合的な全球の地球観測の重要性と必要性の可視化を取り上げてきました。会議ではウェブポータル、レジストリ及びクリアリングハウスを含む GEOSS 共通基盤の進捗が報告されました。データへの完全で制限のないアクセスの重要性が確認され、GEOSS データ共有実施ガイドライン及び行動計画が審議されました。サミットの最後に北京宣言が採択されました。

地球地図は GEO の重要なタスクの一つです。「GEOSS 社会利益分野のための地球地図の整備 (US-09-03a)」が、11 月 2 日のユーザインターフェース委員会会合で、福島 ISCGM 事務局長により発表されました。



福島 ISCGM 事務局長

また、会期中に地球地図のポスターが掲示されました。地球地図や地理空間情報の重要性は、多くの科学者や訪問者から高い評価を得ました。GEO は地球地図を PR する良い機会です。地球地図は北京閣僚級会合進捗報告書の 46 ページにも掲載されています。また、地球地図は GEOSS レジストリにも登録されています。

GEO 作業計画 2009-2011 では 130 を超える GEO タスクが行われています。新たな GEO 作業計画 2012-2015 が 2011 年に整備されます。この計画は 2011 年 11 月に開催される GEO VIII 本会議に提出される予定です。

シンガポールにおける第 12 回 GSDI 国際会議及び第 16 回 PCGIAP 参加報告

ISCGM 事務局

第 12 回 GSDI 国際会議は、2010 年 10 月 18 日から 22 日まで、シンガポールのサンテックコンベンションセンターにおいて、第 16 回アジア太平洋地域 GIS 基盤常置委員会 (PCGIAP) 会合とあわせて開催されました。

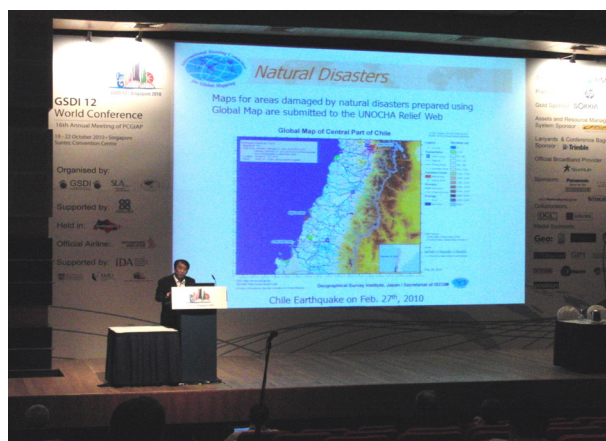
今回の会議のテーマは、「地理空間情報活用社会の実現」でした。同会議には、67 カ国の国家地図作成機関、国際機関、大学、民間企業等から約 650 名

が参加し、各国における空間データ基盤整備の取り組み、組織事項、ウェブサービスによるデータ提供・共有、地理空間情報（画像や3次元情報）の統合、プライバシー等の法律事項、気候変動や災害へのデータ利活用等をテーマにした発表がありました。

地球地図プロジェクトの関係では、テイラー ISCGM 委員長が「実運用されている全球空間データ基盤である地球地図の整備及び管理」及び「地理空間情報社

会：地球地図の貢献」と題して口頭発表を行いました。ISCGM 事務局長である国土地理院の福島地理調査部長が「地球規模の課題への地球地図の活用」と題して口頭発表を行ったほか、会場内で地球地図のポスター展示及び説明を行いました。また、USGS のジーン・パーチャー氏は「米州地域における国家空間データ基盤の進歩の比較（2000-2008）」と題する発表で、2008 年に実施した米州地球地図の整備に関するアンケート結果について報告しました。

次回 GSDI 会合は 2012 年 5 月にカナダ・ケベック州で開催され、第 17 回 PCGIAP 会合は 2011 年 7 月 21 ～ 22 日にモンゴル・ウランバートルで開催予定です。

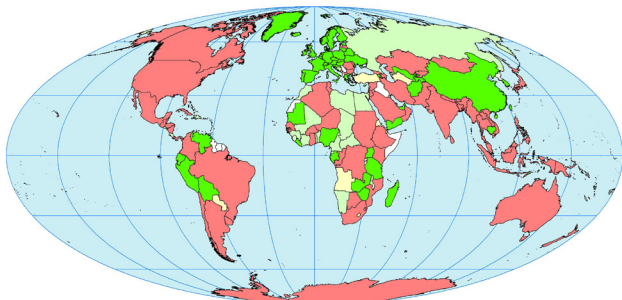


福島 ISCGM 事務局長による発表

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2010 年 12 月 25 日現在、164 カ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。そのうち 71 カ国 / 4 地域の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境についてはいかなる組織によっても公認されたものではありません。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2011 年

- ・ 5 月 2 日～13 日、ニューヨーク
第 19 回国連持続可能な開発委員会（CSD）
- ・ 5 月 18 日～22 日、モロッコ、マラケシュ
FIG 2011
- ・ 6 月 26 日～7 月 1 日、英国、サザンブトン
2011 ケンブリッジ会議

- ・ 7 月 3 日～8 日、フランス、パリ
第 25 回国際地図学会議（ICC2011）
- ・ 8 月 23 日～25 日、オーストラリア、パース
第 7 回デジタルアース国際シンポジウム（ISDE7）
- ・ 10 月 25 日～28 日、大韓民国、ソウル
全球地理空間情報管理に関する国連フォーラム



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行： 地球地図国際運営委員会事務局
連絡先： 〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内
Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923
ホームページ: <http://www.iscgm.org/>
E-mail: sec@iscgm.org